

世界史B

1 目標・使用教科書等

学習の到達目標	1. 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国を含む諸地域世界の歴史と関連づけながら理解し、それらの知識を基礎として歴史的思考力を培う。 2. 歴史の学習を通して、客観的で公正なものを見方を身につける。 3. 広い視野から歴史を考察し、現代社会が直面する課題について考える。
使用教科書・副教材等	『詳説世界史B』山川出版社 『ニューステージ世界史詳覧』浜島書店 『世界史B用語集』山川出版社 『世界史Bマスター問題集』山川出版社

2 学習指導計画及び評価方法等

月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい
4月 5月	第7章 アジア諸地域の繁栄 1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国興隆と東南アジア交易の発展	<ul style="list-style-type: none"> この時期の日本の動向が、東アジア世界の中で位置づけられることを考察する。 イスラーム諸国における非イスラームに対する政策を理解する。
6月 7月 8月	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 3 17～18世紀のヨーロッパ文化	<ul style="list-style-type: none"> 大航海時代を契機に、ユーラシア規模から地球規模の交流に拡大したことを理解する。 16世紀から18世紀のヨーロッパで、主権国家体制が築かれたことを理解する。 大西洋世界に西ヨーロッパを中心とする国際分業体制が形成されたことを理解する。 ヨーロッパ諸国の国家体制について考察し、重商主義の名のもとに海外進出をした経過および影響について理解させる。
9月 10月 11月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン 第11章 欧米における近代国民国家の発展 1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米の文化	<ul style="list-style-type: none"> イギリス産業革命の世界的背景やその展開を通して資本主義の確立を理解させる。 ヨーロッパとアメリカの革命が相互に関連して進展したことを理解させる。 自由主義、国民主義が進展し19世紀後半にはドイツ・イタリアなどで国民国家形成が促されたことを理解させる。 アメリカ合衆国における西部開拓、南北戦争に至る状況とその後の発展について人種問題を含めて理解させる。
12月	第12章 アジア諸地域の動揺 1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの変動 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの進出に対するオスマン、ムガル、清、日本などアジア諸国の動揺と改革から、19世紀のアジアとヨーロッパの関係を総合的に理解させる。 アジア、アフリカ地域への列強の進出と、利害対立を理解したうえで、のちの世界大戦の要因を探らせる。 *第14章、第15章にあてはまる部分は既習
1月	第16章 現在の世界 1 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困	<ul style="list-style-type: none"> 現在の諸問題について、様々な要因をあげて考察させる。 紛争の原因について、多角的かつ客観的に把握させる。

3 評価方法

定期考査 提出課題及び提出状況